

# 日本のあす呼ぶ力

こだまする若き歌声

*Allegro moderato*

わがさよふり わかきまのこ  
りあいつきよきあしはちからあ  
うるはしきくに ほえわたるみどり  
かむにががマリーよ  
おまわかき

## 愛知県青少年の歌

### 若き眉

若き眉 若き眉  
 こぞり立つ 清き朝は  
 力あり 愛する山河  
 ふるさは 麗しき国  
 映えわたる みどりの風に  
 輝やけよ おお 若き眉  
 若き眉 若き眉  
 世紀いま いのち新に  
 海めぐる平和のしらべ  
 大なる 愛と文化は  
 揺籃の地に咲き香る  
 ほほえめよ ああ 若き眉  
 若き眉 若き眉  
 ふるさとに 満てよ楽しく  
 はげみゆく ゆくての讃歌  
 北斗星 のぞみ照らして  
 日本のあす呼ぶ力  
 こだまする おお 若き眉



第57号

発行所 額田郡 公民館  
 愛知縣 幸田町 印刷所 岡崎活版所

### 税務署からお願い

#### ▽入場券について

映画や芝居などを御覧のときは、入場券の半片を必ず受取りま  
 しょう。

入場券の半片は現金の領収書です。従つてこれを受取ること  
 によつて入場税が納まるのです。

#### ▽所得税について

所得税の納税につきましては、日頃格別の御協力を賜わり、  
 第一期分も期限内に完納していただき深く感謝いたしてお  
 ます。

つきましては第二期分の納期は本月三十日までとなつており  
 ますので今回も必ず期限内に完納して下さいますようお願い  
 いたします。

尚皆様の御便宜をはかり、納期限の三十日には当署係員を貴  
 幸田町役場に出張させ現金徴収を取扱わせますから、御利用  
 下さいますようお願い申し上げます。

岡崎 税務署

明日の納税に備え

今から納税貯蓄を。

一日も早く納税貯蓄組合をつくりましょう。

税務署ではこの御相談をお待ちしています。



### 野場クラブの足跡

書記 Y・O

我等がクラブは男子十一名で組織され、活動は地味ではあるが健実な歩みを続け、各自のプロジェクトは水稲を始め白菜、麦、蔬菜等生産プロジェクトが多く占めています。

プロジェクトを押し進めて行く上に特に手段として選んだのは各自の計画図表を家庭内の記入し易い所に貼り積極的に進め定例会にはその記録帳を持ちよつて良きをとり悪しきを改善し、常に「最善の一步先を」ねらつて若き同志が意気投合して科学的に物を考える頭を訓練し、将来一人前の百姓になろうと努力して来ました。こうした努力の結晶が稲豆郡大会で連続優勝し、昨年は県代表として全国大会に臨むことができたのだとクラブ員は一層自重し精進している。この成果はクラブ員相互の協同研究の賜物ではあるが、普及員や4Hクラブ生みの親である伊沢氏の功績であることを「ありがとう」と感謝し、今後とも末長く見守つてほしいと念ずるのがクラブ全員の本心です。新生幸田町のいくつものクラブと相扶けあい尙一段の活動を推進して明るい郷土の伸展に寄与したい。

### 幸田町産業振興祭

とき 十一月二十二日午前九時から午後四時まで

会場 幸田町立幸田中学校

行事

- 1 農産物品評会と即売会
  - 2 農機具、農業展示会
  - 3 映画会「村はすこやか」外(公民館が撮影した)
  - 4 生活改善展
  - 5 抽せん会
- 一万七千町民の皆様、ふるつて御出品、御参観下さいませよう。

### 縣立中央図書館

移動図書館貸出図書目録

- 1 女は怖い
- 2 万花地獄
- 3 生き方
- 4 極楽夫婦
- 5 二宮尊徳
- 6 夜歩く
- 7 日本艶笑滑稽譚
- 8 バレーボール
- 9 肌恋囃子
- 10 明治美人館
- 11 いざりす童話集
- 12 初旅坊ちゃん
- 13 俘虜記
- 14 いのちのかぎり
- 15 息子の青春
- 16 風にそよぐ葦
- 17 家庭便利帖
- 18 浄瑠璃坂の仇討
- 19 人間日蓮
- 20 生活読本
- 21 野 球
- 22 家畜と家禽の飼い方
- 23 閑人独語
- 24 女の一生
- 25 池坊四季活花秘伝
- 26 財界新山脈
- 27 農業電化の実態
- 28 肉休の暴風
- 29 私は自由を選んだ
- 30 実用ラジオサービスマップ
- 31 ガダルカナル
- 32 金色夜叉続篇
- 33 第三次大戦回顧録
- 34 思の川
- 35 日本人の思想的態度
- 36 米の増産
- 37 ニッポン日記上
- 38 同 下
- 39 漱石物語
- 40 戦後の文学
- 41 源氏物語の鑑賞
- 42 しづかな流
- 43 日本文学の進路
- 44 米か反米か
- 45 これからの養鶏
- 46 女性宣言
- 47 あらゆる契約書の例
- 48 政治感覚
- 49 学窓より社会への道
- 50 仏教入門
- 51 母のための赤ちゃんの話
- 52 唱物弁記法
- 53 自由教育論
- 54 これからの農家経営
- 55 蔬菜の病気防除のねらい
- 56 小学校における才能教育
- 57 北方の心情
- 58 商業簿記講話
- 59 アジアの声下
- 60 隨筆神仏の微笑
- 61 南海はがらか道中
- 62 日本俘虜はソ連でどんな生活した
- 63 わが青年時代
- 64 近世の大技術者
- 65 新例実用手紙文範
- 66 西洋の名画
- 67 米国実業界の斗士たち
- 68 一 茶
- 69 日本の五人の紳士
- 70 私の考え方
- 71 ファーブルと昆虫
- 72 我聴く
- 73 オリジナルの話
- 74 野球の話
- 75 アラビヤナイト
- 76 青年の心理
- 77 現代哲学読本
- 78 絶対信の世界
- 79 ガダルカナル
- 80 現代人の遍歴
- 81 徳川夢声代表作品
- 82 市 場
- 83 すいれん夫人とばら娘
- 84 現代人の遍歴
- 85 乗合自動車
- 86 若き生命の歌
- 87 愛情不動
- 88 三国志
- 89 悪魔来りて笛を吹く
- 90 現代長篇小説全集
- 91 演 劇
- 92 アメリカ野球技術
- 93 親鸞 一
- 94 新しい草花花木栽培百科辞典
- 95 果樹園の技術と経営
- 96 家庭料理
- 97 バレーボール
- 98 ママさんなあげ
- 99 最近スポーツの知識
- 100 親鸞 二
- 101 ゲーム二十橋
- 102 農村住宅の改善
- 103 銭形平次抽物全集
- 104 暦、妻の座
- 105 家庭用品の使い方と手
- 106 家 事
- 107 レクリエーション教本
- 108 一年中の惣菜の作り方
- 109 混血人生記
- 110 お茶漬の味、他一
- 111 馬喰一代
- 112 赤穂義士銘々伝
- 113 あなたも上手に話せる
- 114 ペン習字手本
- 115 これからのすまい
- 116 アンデルセン童話全集
- 117 お話の本

# 幸田町社会体育を推進する人たち

社会体育シリーズ (5)

愛知県社会体育研究指定町として指定した幸田町の指導員を委嘱する。

昭和二十九年四月一日

## 愛知県教育委員会

氏名

○志賀 又郎

○小野 榛那

県社会体育係 松本博通氏

○谷川 充

県社会体育係長 外山弘之氏

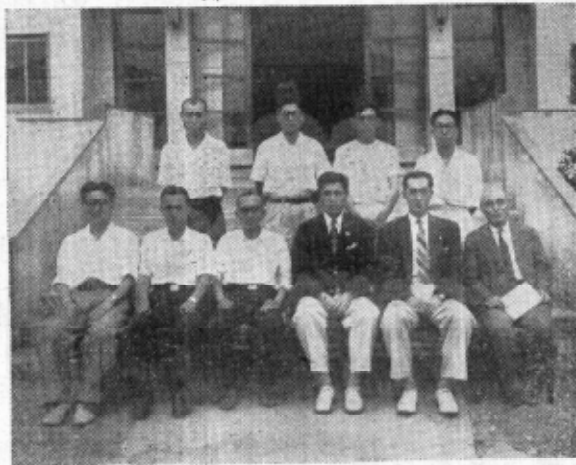
○小川 克美

学校長 推田鹿三郎

○内田三之助

郡体育主任 沢田岩男氏

○富田 久三



運 管 志賀 又郎  
 陸上競技部 小川 克美  
 体育部 谷川 充  
 球技部 小野 榛那  
 格技部 内田三之助  
 レクリエーション部 富田 久三  
 女子 吉浜たづ子

### 一、パティ、ケーキ

ボルカ (アメリカ)

体形ダブルサークル向合い両手をとる。

1. 男左足、女右足、ヒールトゥ二回

2. 反時計廻りの方へスライド四回

3. 男右足、女左足ヒールトゥ二回

4. 時計廻りの方へスライド四回

5. 向合い右手を三回打合う

6. 同じく左手を三回うち合う

7. 同じく両手を三回うち合う

8. 同じく両手で膝を打ち合う

9. 右腕をくみ右廻りにスキップ

キングレコード C八六九

### 二、輪になつて

(イギリス)

体形シングルサークル (男女互に手を取り円心を向く)

1. 円心へバランス二回

2. 女子円心へバランス

3. 男子円心へ出て左廻りをして手をたつきコーナーの女子へ (きりかえ)

4. スウイング

5. プロムナードで前進 (円周上を反時計廻りに歩く)

6. 全員円心を向き、右ヘゲロップ

ピクチャーレコード B二三五

## 体育大会の成績

| 種目  | 青年リレー |   | 球入 |   | 婦人リレー |   | 地域継走 |   | 綱引 |   | 各層継走 |    | 順位 |
|-----|-------|---|----|---|-------|---|------|---|----|---|------|----|----|
|     | 男     | 女 | 男  | 女 | 女     | 男 | 女    | 男 | 女  | 男 | 女    |    |    |
| 草薙池 | 6     | 3 | 3  | 6 | 6     | 2 | 2    | 2 | 5  | 6 | 3    | 33 | 二  |
| 萩谷  | 4     | 4 | 5  | 4 | 4     | 3 | 4    | 3 | 6  | 3 | 3    | 33 | 一  |
| 深溝  | 2     | 2 | 4  | 3 | 3     | 4 | 5    | 4 | 1  | 5 | 2    | 23 | 五  |
| 豊坂  | 3     | 1 | 2  | 2 | 2     | 5 | 6    | 6 | 4  | 1 | 1    | 28 | 四  |
|     | 1     | 1 | 1  | 1 | 1     | 3 | 2    | 3 | 4  | 2 | 4    | 19 | 六  |
|     | 5     | 5 | 6  | 2 | 2     | 1 | 5    | 3 | 3  | 5 | 5    | 32 | 三  |

郷土の史料

(その四十九)

俚 謠

志賀又郎

七、子守歌



- おらがこの子はねる頃だ、みんな静かにしておくれ。
- おらがこの子は寝させや起きる皆な静かにしておくれ。
- 子守子供が手習子にほれて、晩のあがり待ちかねる。
- 守だ守だと遊ばせおけば、三十男の袖をひく。
- こんな泣く子の守するよりは、いやな田の草とるがよい。
- 前の山道ちんば通る、笠が見えたりかくれたり。
- ねんねねんねとねる子はよいがおきて泣く子は面憎い。
- わしやがこの子は寝させやおきる誠この子は親泣かせ。
- 泣くなくなよ日影の紅葉、なんぼ泣いても日は照らぬ。
- 泣いてくれるな泣かんでさえも辛苦だぞやれ一人児は。
- おらがこの子はなぜなくしらん乳が足らぬか眠たいか。
- ねんねしなされ鐘がなる、夢の浮橋とんとことん、渡れば向うで竜宮の、乙姫様が待つている。

○いゝ子のお守りはどこへいつた、あの山こえて里えいつた、お里の土産に何もろた、でんでんたいこに笙の笛 お手にもあわぬ風車

○よいよいよい子のお守りはどこえいつた、里のぼんばえ砂糖買いに、里のもどりに何もろた、でんでん太鼓に笙の笛、おきあがりこぼしに大はりこ。

○ねんねんよ、おころりよ、この子のかわいさ申すなら、山では木の数草の数、天え昇つて星の数 沼津へ下りて千本の、千本松原小松原、松葉の数より尙かわいい。

○ねんねんよ、ねんねんよ、ねんねんこの山の小東は、なんでお耳がお長いか、寝ている時に母さんがお耳をくわえてひつばつた、それでお耳がお長いや、ねんねんよ、おころりよ。

血秋さんの

句集発刊を祝う

萩 雨 生

こんど深溝の山本血秋さんが、「窓」という表題の下に処女句集を世に出された。第一部は昭和四年から始まり昭和十八年まで百句、第二部

は昭和二十四年から二十九年までの三百二十六句が八十五頁に納められている。戦前の第一部は所謂写実的な客観写生の珠玉篇ともいべきもので、今はなき石鼎師門下の逸材としての面目躍如たるものがある。

身の傍暗く落穂を拾いけり  
うらぶれの財布のぞかせ日向ぼこ  
遙かなる芦刈が焚く煙かな  
でゝ虫の月に角上ぐ夜もあらん

第二部の戦後に移つてからは天地一変、世情の変化と斗病生活を俳句一本に打込んで来たその姿が技巧的に或は意欲的に或は内攻的にその心境の変化を如実に物語っている。

虹消えぬはだけし胸を包み臥す  
小寒や寝て食う飯に音をたて  
珍らしき雪とて食べる物を買う  
氷啜えかららと食いて鶴凍てぬ

句集出版などということは生やさしい発意では出来得るものではない。かかるが故に一層氏の詩的才能と病と斗いつつも挽まぬ努力に敬意を表したい。そしてこの句集発刊は独り作者の喜びだけでなく、同郷句友は勿論、吾が幸田町の一つの誇りとして永く記憶にとめておきたいものである。

朝日健康行進曲

やじろべ

- 一、「朝日社」選ぶモデル村  
宛然五指の乳兄弟  
固く握れば 鉄拳の  
岩をも砕く意気にもえ  
祖国を 興す エネルギー  
雲霧 払いて 輝やかん。
- 二、開けば奥羽、関東や  
中国、近畿と隔つれど  
交互にめぐる 温かき  
胸の血潮と 研究の  
成果 譲りつ まつしぐら  
進む五郷の頼もしや。
- 三、繁る青森 千年村  
堅実 岩手 弥栄え  
栃木の錦 絹島を  
知るや 知らずや 米のなる  
唄の岡山 山陽を  
友に 愛知の幸田町。
- 四、洛東徳ぶ 翠櫛に  
続く 沃野は郡の穀倉  
ネオン まばやき 三菱や  
郷土に誇る 駅、庁舎  
「明るい町」のセンターは  
茜にはゆる 公民館。

保月庵茶話(二)

白梅会記

茶の由来

茶の湯はいつ頃から日本に伝つたのかと申しますと、比叡山延暦寺の開山伝教大師が唐より帰朝の際茶の実を持参し、江州坂本に蒔いた伝説があり、今でも坂本村民は、六月四日に茶を大師の廟に献ずることを年中行事として忘れない。

其の後鎌倉時代の初期に京都建仁寺の開山榮西禪師が宋から茶の実を持ち帰り、之を筑前背振山にまいたのが次第に繁殖して光上茶となつたといわれます。当時支那では茶が一種の仙薬と考えられ精神を爽快にして坐禅の修業に特効あるものとして禅寺で専ら飲用せられ、其の頃から茶と禅とは不可分の関係になり、茶禅一味といふならわされる起因となつたと思われまます。

榮西禪師は、茶の実を蒸殖したばかりでなく、その効能を大いに宣伝し広く喫茶の徳をめでて喫茶養生記を著し、茶は薬種中一番貴重なものであると唱道しています。また禪師の献上した茶が、將軍実朝の病氣をなおした事が大評判になつて流行に

拍車をかけたとも言ひ伝えられています。

すべて何によらず盛んになれば必ず余弊を生ずるといいますが、喫茶も亦鎌倉の末期から風儀が乱れて闘茶という悪い遊び事の具となり、十服茶、百服茶とかいつて「梅尾の茶を本茶、宇治茶其の他を非茶といひ之を飲みわけていい当てる」という茶を賭の賽の目のようにして、金品を遣り取りするので、心ある人々の中には憂えて節制あるものにならなくてはと思ひ立ち、工夫の結果今の様な茶の礼法を作り上げる基になつたのであります。

当時の悪弊に陥つてゐる茶を厭ひ喫茶に礼法をうちたてなくてはならぬという意向の高まる時代の要求に應じて現れた称名寺の僧村田珠光が参禅の時に睡眠を催すのに因み、茶の諸味の首位にして心臓を強固にして睡眠を防ぐに最も適したものとして之より抹茶を愛喫するにつれて遂に茶の礼法を定めるに至つたともいわれ、こうした歴史と共に諸々の変遷をくり返しつゝ現在行われてゐるような茶の湯に進んで参つたのであります。

幸田町 委員名簿

| 資格        | 氏名     | 生年月日       | 在年月      | 住                   | 所  | 職業          | 備考 |
|-----------|--------|------------|----------|---------------------|----|-------------|----|
| 3015条2の11 | ○権田鹿三郎 | 明治39年4月8日  | 48年6月    | 岡崎市若松町字西の切九五        | 教員 | 幸田町立幸田中学校校長 |    |
| "         | 尾崎治郎吉  | "          | 49年10月   | 安城市字赤塚四八            | "  | 幸田小学校校長     |    |
| "         | 鈴木政司   | "          | 49年10月   | 幸田町大字深溝字中島二七の一      | "  | 深溝          |    |
| "         | 神谷太郎   | "          | 49年10月   | 豊川市豊川町長通り六          | "  | 萩谷          |    |
| "         | 山本正一   | "          | 45年7月    | 幸田町大字大草字正三三         | "  | 坂崎          |    |
| "         | 野本政治   | "          | 47年7月    | 碧海郡六ツ美村大字正名字中ノ切二七ノ一 | "  | 豊坂          |    |
| 3015条2の2  | 小林迪行   | 昭和6年9月11日  | 23年1月    | 幸田町大字坂崎字前山二九        | 農  | 青年代表        |    |
| "         | 岡田つな   | 明治30年7月23日 | 57年3月    | 幸田町大字深溝字里五          | "  | 婦人代表        |    |
| "         | 天野由松   | "          | 50年6月    | 幸田町大字野場字上市場三一の一     | "  | P T A代表     |    |
| "         | ○小野宗重  | "          | 58年7月    | 幸田町大字久保田字柴崎四七       | 僧  | 郷土調査委員代表    |    |
| "         | 天野勇    | "          | 64年7月    | 幸田町大字大草字西九          | 農  | 仏教会代表       |    |
| "         | 小玉五市   | "          | 62年9月    | 幸田町大字菱池字西脇一六        | 農  | 農協代表        |    |
| 3015条2の3  | 榊原甚八   | "          | 60年4月    | 幸田町大字芦谷字大岩八三        | 工  | 商工会代表       |    |
| "         | 春日井房次郎 | "          | 62年11月   | 幸田町大字逆川字大岩三四        | 農  | 民生委員代表      |    |
| "         | 石川庄平   | "          | 62年7月    | 幸田町大字菱池字東部一六        | "  | 保護司代表       |    |
| "         | 志賀勅治   | "          | 45年4月    | 幸田町大字菱池字山の池六一       | "  | 民生委員代表      |    |
| 3015条2の3  | ◎伊野鯉之助 | "          | 72年8月    | 幸田町大字大草字大藏九七        | "  |             |    |
| "         | 岩瀬縫太郎  | "          | 67年10月   | 幸田町大字深溝字天王山二二       | "  |             |    |
| "         | 内田省吾   | "          | 70年6月    | 幸田町大字萩字東中一六         | "  |             |    |
| "         | 加藤泉    | "          | 43年3月14日 | 幸田町大字須美字元屋敷五六       | "  |             |    |

昭和三十一年三月三十一日任期満了とする。◎長 ○副

読書週間

読書は

心の糧かて

寿命が延びた

男 五九・三五 女 六二・七三

日本人の寿命は、俗に五十年といわれていたが、厚生省十五日の発表の生命表によると最近抗生物質剤、スルファ剤等の普及で男女共平均寿命が六十才前後までのび、比較的長生する欧米と比べても見劣りしない程度までに過ぎつめた。

昭和二十四年の生命表によると男は五〇・〇六女は五三・九六才が平均死亡年令であつたのが、二十七年九月までの資料に基づいた今度の生命表は、男五九・三五才、女六二・七三才と一挙に十年近く延長し、七十才まで生きる人は十人に四人、八十才が十人に一・五人、九十才でも十万人に千四百二十五人、殆んど不可能に近い百才の長寿を保つ人も十万人に四・五人という状態にまで進んだ。

人口動態 (9月分)

|    |    |                  |                       |
|----|----|------------------|-----------------------|
| 出生 | 24 | { 男 12<br>女 12 } | 累計 235 { 128<br>107 } |
| 死亡 | 13 | { 男 3<br>女 10 }  | 99 { 42<br>57 }       |
| 死産 | 0  |                  | 2                     |
| 婚姻 | 11 |                  | 106                   |
| 離婚 | 1  |                  | 7                     |

増産百語

賢者と愚者  
賢者が賢といわれるのは一方に愚者があるからだ。人が皆賢者ならば賢とはいわれず、人が皆愚者ならば愚とはいわれぬ。愚者はもと一体だから賢がなければ愚がいない訳にはいかない。愚があれど賢がいない訳にはいかない。賢と愚との関係は柄があるから柄と柄のようないつた柄が役に立つのは柄があるからだ。賢者が名を博すのは愚者があるからだ。賢者は愚者を親切に導き愚者は賢者に従わなければならぬ。「徳のある者は徳のないものを教育し、才のあるものは才のない者を教育せよ」と孟子も教えているではないか。  
(二宮尊徳翁の言葉)

寄附金つき

お年五年賀葉書

(昭和30年用)

お早くお求め下さい。

幸田郵便局

新穀感謝

勤労感謝 (十一月二十三日)

勤労をたつとび 生産を祝い  
国民たがいこに 感謝しあう  
戸毎に国旗 手毎にホール

合併

- 合併が郷土に春呼ぶ光呼ぶ
- せまい境をとりのけて 明るい明るい村づくり
- 手をとりあう 境もとりあう 隣村
- 村興す この合併が 国興す
- 子に孫に残す郷土だ 合併だ
- 扱まれれば まだでる 村の底力



育児講座 (八)

20 白身魚の白ソース煮

材料 白身魚二〇匁 牛乳 一合

小麦粉三〇匁 煮出汁 一合

みかん 半分 塩少々

軟魚を塩にしてむし身をばらばらにほぐす。小麦粉、牛乳、煮出汁を合せてどろりとさせたものを作り、魚の身を和える。みかんの汁をしぼって入れる。

21 うどんのとまと煮 九ノ十一月

材料 白玉うどん一玉、塩、煮出汁

トマトケチャップ三勺

煮出汁(花かつお)でうどんを煮て軟かくなつたらトマトケチャップを入れ塩味をつける。

少しのひまをさいて

読書しましよ

幸田町公民館 図書部

(月曜日)

# THE KODATYŌ KŌHŌ

昭和29年11月8日 (8)

## 主要地宛郵便物配達所要日数一覧表

## 主要地に対する電報主要時分

昭和29・4・1現在

幸田郵便局

昭和29年5・6・2ヶ月平均

| 都府県 | 宛先の配達局 | 所要日数  |     | 都府県 | 宛先の配達局 | 所要日数 |     | 宛地   | 普通至急 |    | 宛地  | 普通至急 |    |    |
|-----|--------|-------|-----|-----|--------|------|-----|------|------|----|-----|------|----|----|
|     |        | 市内地   | 市外地 |     |        | 市内地  | 市外地 |      | 普通   | 至急 |     | 普通   | 至急 |    |
| 愛知  | 岡崎     | 1     | 1   | 長野県 | 西春     | 1    | 2   | 西尾市  | 24   |    | 浜松市 | 49   |    |    |
|     | 安城     | 1     | 1   |     | 近草     | 1    | 2   | 本郷   | 37   |    | 兵庫  | 49   |    |    |
|     | 碧南     | 1     | 1   |     | 富島     | 1    | 2   | 碧南市  | 37   |    | 京都  | 64   | 56 |    |
|     | 西尾     | 1     | 1   |     | 飯島     | 1    | 2   | 豊橋   | 33   |    | 鳥取  | 63   |    |    |
|     | 挙母     | 1     | 1   |     | 赤飯     | 1    | 2   | 知立   | 41   |    | 岡山  | 56   |    |    |
|     | 名古屋    | 名古屋東  | 1   | 1   | 大下     | 1    | 2   | 岡崎市  | 13   | 3  | 大阪府 | 59   | 54 |    |
|     |        | 名古屋中央 | 1   | 1   | 岐阜     | 1    | 1   | 形原   | 27   |    | 神奈川 | 59   |    |    |
|     |        | 中村    | 1   | 1   | 多治見    | 1    | 1   | 蒲郡   | 31   | 30 | 鹿児島 | 65   |    |    |
|     |        | 熱田    | 1   | 1   | 中津川    | 1    | 2   | 上横須賀 | 35   |    | 長野  | 59   | 52 |    |
|     |        | 昭和    | 1   | 1   | 四日市    | 1    | 1   | 名古屋  | 37   | 22 | 山梨  | 74   |    |    |
|     |        | 千種    | 1   | 1   | 津坂     | 1    | 1   | 海老   | 44   |    | 京都府 | 50   | 49 |    |
|     |        | 半宮    | 1   | 1   | 三重県    | 四日市  | 1   | 2    | 足助   | 35 |     | 福井   | 62 |    |
|     |        | 春日井   | 1   | 1   | 東京     | 日本橋  | 1   | 1    | 安城   | 33 |     | 愛媛   | 81 |    |
|     |        | 津島    | 1   | 2   | 都      | 京橋   | 1   | 1    | 桜井   | 67 |     | 埼玉   | 97 |    |
|     |        | 瀬戸    | 1   | 2   | 大阪     | 京橋   | 1   | 1    | 三谷   | 39 |     | 岐阜   | 46 | 42 |
|     | 犬山     | 1     | 2   | 大阪  | 大阪東    | 1    | 1   | 新城   | 27   |    | 三重  | 49   | 45 |    |
|     | 豊橋     | 1     | 1   | 新潟県 | 五町     | 1    | 2   | 本宿   | 14   |    | 静岡  | 54   |    |    |
|     | 豊川     | 1     | 1   |     | 浦佐     | 1    | 2   | 瀬戸市  | 33   |    | 広島  | 49   | 44 |    |
|     | 新城     | 1     | 1   |     | 大崎     | 2    | 2   |      |      |    |     |      |    |    |
|     | 本郷     | 1     | 2   |     | 新湯     | 2    | 2   |      |      |    |     |      |    |    |
| 津具  | 1      | 2     | 山梨県 | 南川  | 1      | 2    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 振草  | 1      | 2     |     | 部大  | 1      | 2    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 稲武  | 1      | 2     |     | 門沢  | 1      | 2    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 名倉  | 1      | 2     |     | 府   | 1      | 2    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 東郷  | 1      | 1     | 静岡県 | 静内  | 1      | 1    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 田口  | 1      | 1     |     | 堀川  | 1      | 1    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 鳳来寺 | 1      | 1     |     | 掛井  | 1      | 1    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 赤羽根 | 1      | 2     |     | 袋田  | 1      | 1    |     |      |      |    |     |      |    |    |
| 長野県 | 伊那     | 2     | 2   | 他   | 富山     | 1    | 1   |      |      |    |     |      |    |    |
|     | 宮田     | 1     | 2   |     | 福井     | 1    | 1   |      |      |    |     |      |    |    |
|     | 七久保    | 1     | 2   |     | 横奈     | 1    | 2   |      |      |    |     |      |    |    |
|     | 中沢     | 1     | 2   |     | 神大     | 1    | 2   |      |      |    |     |      |    |    |
|     |        | 1     | 2   |     |        | 大    | 2   | 2    |      |    |     |      |    |    |

## 電話待合時分一覧表 (平均)

昭和29年7月5・6・7・3日間平均

| 対話地 | 普通 | 至急 | 料金 |
|-----|----|----|----|
| 西尾  | 12 |    | 20 |
| 豊橋  | 42 | 18 | 25 |
| 形原  | 21 | 10 | 10 |
| 蒲郡  | 8  | 2  | 10 |
| 名古屋 | 14 |    | 35 |
| 六ツ  | 9  |    | 10 |
| 岡崎  | 6  | 3  | 10 |
| 福藤  | 6  |    | 10 |
| 安岐  | 3  |    | 10 |
| 三   | 7  |    | 20 |
|     | 37 |    | 40 |
|     | 7  |    | 10 |